

平成26年度 施設情報 総合計

I 病院別数

施設区分	数	地区	施設数	地区	施設数	地区	施設数
①施設の区分		福島県	11 数	岐阜県	15 数	山口県	18 数
大学附属病院	110 数	地区計	64 数	静岡県	20 数	徳島県	7 数
一般病院	554 数	茨城県	13 数	愛知県	44 数	香川県	12 数
個人医療機関	4 数	栃木県	11 数	三重県	11 数	愛媛県	9 数
登録衛生検査所	93 数	群馬県	16 数	地区計	122 数	高知県	4 数
検診機関	48 数	埼玉県	29 数	滋賀県	8 数	地区計	102 数
合計	809 数	千葉県	29 数	京都府	14 数	福岡県	31 数
②所属都道府県別数地区別・県別		東京都	83 数	大阪府	57 数	佐賀県	5 数
北海道	38 数	神奈川県	40 数	兵庫県	36 数	長崎県	12 数
地区計	38 数	山梨県	6 数	奈良県	5 数	熊本県	9 数
青森県	9 数	長野県	25 数	和歌山県	0 数	大分県	8 数
岩手県	8 数	新潟県	17 数	地区計	120 数	宮崎県	7 数
宮城県	13 数	地区計	269 数	鳥取県	6 数	鹿児島県	9 数
秋田県	10 数	富山県	10 数	島根県	8 数	沖縄県	13 数
山形県	13 数	石川県	14 数	岡山県	15 数	地区計	94 数
		福井県	8 数	広島県	23 数	合計	809 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		1 : 定期的に週2回以上勤務	234 数
細胞診専門医数	2,421 数	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	301 数
② 経験年数		3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	157 数
経験年数合計	41,519 年	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	59 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	17.1 年	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	54 数
③ 常勤か非常勤		6 : それ以外	328 数
常勤	1,278 数	合計	1,133 数
非常勤	1,126 数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	1275 数
		いいえ	300 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数/細胞診検査士数(平均)	17.5 年
細胞診検査士数	4,571 数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	3,650 数
経験年数合計	79,814 年	非常勤	911 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	3,414,683	145,294	23,506	44,785	3,628,268	230,643
呼吸器	1,039,991	31,627	67,953	59,945	1,199,516	114,965
消化器	61,425	21,395	19,908	7,626	110,354	36,554
泌尿器	1,476,364	121,169	42,978	2,448	1,642,959	89,717
乳腺	101,166	19,707	25,624	31,824	178,321	37,001
甲状腺	94,534	19,340	14,166	20,309	148,349	15,701
体腔液	234,444	17,538	49,062	1,290	302,334	80,520
リンパ節	25,238	5,168	18,905	4,387	53,698	23,123
その他	104,726	15,618	12,460	6,667	139,471	22,100
小計	6,552,571	396,856	274,562	179,281	7,403,270	650,324

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
22,946	9,354,729	196,859	37,521	140,571	92,574	12,974	8,780	5,302	171	896	9,872,256

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	4,221	180	29	55	4,485	285
呼吸器	1,286	39	84	74	1,483	142
消化器	76	26	25	9	136	45
泌尿器	1,825	150	53	3	2,031	111
乳腺	125	24	32	39	220	46
甲状腺	117	24	18	25	183	19
体腔液	290	22	61	2	374	100
リンパ節	31	6	23	5	66	29
その他	129	19	15	8	172	27
小計	8,100	491	339	222	9,151	804

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
28	11,563	243	46	174	114	16	11	7	0	1	12,203

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	3,612 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	3,511 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	1,679 数
技師参加者	11,667 数		技師	10,691 数		成績(%合計)	117,949.1 %
合計	15,226 数		参加者	14,202 数		成績(平均)	70.2 %

26年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県 1 数	地区	岐阜県 1 数	地区	山口県 1 数
大学附属病院 110 数			地区計 6 数		静岡県 1 数		徳島県 1 数
		関東地区	茨城県 2 数	近畿地区	愛知県 5 数	九州地区	香川県 1 数
			栃木県 2 数		三重県 1 数		愛媛県 1 数
			群馬県 1 数		地区計 12 数		高知県 1 数
			埼玉県 5 数		滋賀県 1 数		地区計 10 数
合計 110 数			千葉県 8 数		京都府 2 数		福岡県 3 数
			東京都 24 数		大阪府 7 数		佐賀県 1 数
			神奈川県 11 数		兵庫県 2 数		長崎県 1 数
			山梨県 1 数		奈良県 2 数		熊本県 1 数
			長野県 1 数		和歌山県 0 数		大分県 1 数
			新潟県 1 数		地区計 14 数		宮崎県 0 数
		地区計 56 数	鳥取県 1 数	鹿児島県 1 数			
		中部	富山県 1 数	島根県 1 数	沖縄県 1 数		
			石川県 2 数	岡山県 2 数	地区計 9 数		
			福井県 1 数	広島県 1 数	合計 110 数		
②所属都道府県別数地区別・県別							
北海道	北海道 3 数						
	地区計 3 数						
東北	青森県 1 数						
	岩手県 1 数						
	宮城県 1 数						
	秋田県 1 数						
	山形県 1 数						

II 所属専門医

① 細胞診専門医名	1 : 定期的に週 2 回以上勤務	25 数
細胞診専門医名 593 数	2 : 毎週 1 回勤務 : 3 時間以上	27 数
② 経験年数	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	10 数
経験年数合計 7,592 年	4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	7 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均) 12.8 年	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	6 数
③ 常勤か非常勤	6 : それ以外	29 数
常勤 485 数	合計	104 数
非常勤 103 数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態	はい 236 数	いいえ 35 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	経験年数/細胞診検査士数(平均)	14.1 年
細胞診検査士数 692 数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数	常勤	656 数
経験年数合計 9,790 年	非常勤	36 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	297,249	145,294	6,209	4,955	334,348	63,791
呼吸器	70,270	31,627	17,023	5,576	99,755	29,369
消化器	17,924	21,395	5,322	2,311	31,540	12,804
泌尿器	160,392	121,169	7,849	288	186,363	19,461
乳腺	9,670	19,707	4,094	4,164	20,414	7,159
甲状腺	15,504	19,340	2,811	5,365	27,954	3,542
体腔液	58,833	17,538	11,280	327	74,779	27,166
リンパ節	6,991	5,168	5,359	1,514	15,294	7,214
その他	25,705	15,618	3,191	1,805	34,784	8,403
小計	662,538	396,856	63,138	26,305	825,231	178,909

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,912	292,391	13,929	3,122	13,253	14,049	1,567	1,983	1,414	51	157	343,620

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,702	1,321	56	45	3,040	580
呼吸器	639	288	155	51	907	267
消化器	163	195	48	21	287	116
泌尿器	1,458	1,102	71	3	1,694	177
乳腺	88	179	37	38	186	65
甲状腺	141	176	26	49	254	32
体腔液	535	159	103	3	680	247
リンパ節	64	47	49	14	139	66
その他	234	142	29	16	316	76
小計	6,023	3,608	574	239	7,502	1,626

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
17	2,658	127	28	120	128	14	18	13	0	1	3,124

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者 911 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿) 医師 867 数	VI 精度管理参加記録 プログラム 217 数
技師参加者 1,972 数	技師 1,846 数	成績(%合計) 13,855.7 %
合計 2,834 数	参加者 2,768 数	成績(平均) 63.9 %

26年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県 9 数	地区計 40 数	地区	岐阜県 11 数	地区	山口県 15 数
一般病院	554 数	関東地区	茨城県 9 数	近畿地区	静岡県 18 数	愛知県 33 数	三重県 10 数	徳島県 5 数
			栃木県 7 数					滋賀県 5 数
群馬県 13 数	京都府 8 数		愛媛県 7 数					
埼玉県 17 数	大阪府 42 数		高知県 2 数					
千葉県 19 数	兵庫県 26 数		地区計 73 数					
東京都 43 数	奈良県 2 数		福岡県 18 数					
神奈川県 26 数	和歌山県 0 数		佐賀県 2 数					
山梨県 4 数	地区計 83 数		長崎県 9 数					
長野県 22 数	鳥取県 4 数		熊本県 7 数					
新潟県 11 数	島根県 5 数		大分県 5 数					
地区計 171 数	岡山県 10 数	宮崎県 6 数						
合計	554 数	中部	富山県 8 数	中国	広島県 16 数	九州地区	鹿児島県 7 数	
			石川県 7 数				沖縄県 10 数	
			福井県 6 数				地区計 64 数	
							合計	554 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医名	細胞診専門医名	1,175 数	1 : 定期的に週 2 回以上勤務	61 数
② 経験年数	経験年数合計	20,929 年	2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上	195 数
	経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	17.8 年	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間~3 時間未満	38 数
③ 常勤か非常勤	常勤	728 数	4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	46 数
	非常勤	436 数	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間~3 時間未満	18 数
④ 非常勤の場合の勤務形態			6 : それ以外	90 数
			合計	448 数
			勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
			はい	636 数
			いいえ	64 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	細胞診検査士数	2,181 数	経験年数/細胞診検査士数(平均)	14.9 年
② 経験年数	経験年数合計	32,526 年	③ 常勤か非常勤	
			常勤	2,059 数
			非常勤	112 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	834,835	48,414	11,814	22,783	917,846	108,230
呼吸器	225,508	16,117	44,576	17,823	304,024	76,710
消化器	34,589	12,355	13,097	4,676	64,717	22,615
泌尿器	481,635	53,116	24,564	1,350	560,665	57,144
乳腺	37,417	7,618	13,492	12,560	71,087	25,171
甲状腺	50,051	10,060	7,709	11,114	78,934	9,855
体腔液	130,331	8,896	29,420	859	169,506	50,011
リンパ節	15,478	3,154	11,653	2,478	32,763	15,350
その他	44,598	7,072	7,008	2,852	61,530	12,990
小計	1,854,442	166,802	163,333	76,495	2,261,072	378,076

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
8,812	1,522,349	48,828	10,994	35,052	30,915	4,815	3,647	2,489	24	599	1,667,901

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,507	87	21	41	1,657	195
呼吸器	407	29	80	32	549	95
消化器	62	22	24	8	117	28
泌尿器	869	96	44	2	1,012	71
乳腺	68	14	24	23	128	31
甲状腺	90	18	14	20	142	12
体腔液	235	16	53	2	306	62
リンパ節	28	6	21	4	59	19
その他	81	13	13	5	111	16
小計	3,347	301	295	138	4,081	467

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
16	2,748	88	20	63	56	9	7	4	0	1	3,011

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	1895 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	1,831 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	1099 数
技師参加者	6,337 数		技師	5,931 数		成績(%合計)	79441.8 %
合計	8,227 数		参加者	7,852 数		成績(平均)	72.3 %

26年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	地区	福島県	0数	地区	岐阜県	0数	地区	山口県	0数
		地区計	0数		静岡県	0数		徳島県	0数
個人医療機関	関東地区	茨城県	0数	近畿地区	愛知県	0数	九州地区	香川県	0数
		栃木県	0数		三重県	0数		愛媛県	0数
		群馬県	0数		地区計	0数		高知県	0数
		埼玉県	0数		滋賀県	0数		地区計	1数
		千葉県	0数		京都府	0数		福岡県	1数
		東京都	1数		大阪府	0数		佐賀県	0数
合計	中部	神奈川県	0数	中国	兵庫県	1数	合計	長崎県	0数
		山梨県	0数		奈良県	0数		熊本県	0数
		長野県	0数		和歌山県	0数		大分県	0数
		新潟県	0数		地区計	1数		宮崎県	0数
		地区計	1数		鳥取県	0数		鹿児島県	0数
		富山県	0数		島根県	0数		沖縄県	0数
石川県	0数	岡山県	0数	地区計	1数				
山形県	0数	福井県	0数	広島県	1数				

II 所属専門医

① 細胞診専門医名		1:定期的に週2回以上勤務	0数
細胞診専門医名	7数	2:毎週1回勤務:3時間以上	0数
② 経験年数		3:毎週1回勤務:1時間~3時間未満	4数
経験年数合計	70年	4:2週間に1回勤務:3時間以上	0数
経験年数合計/細胞診専門医数(平均)	10.0年	5:2週間に1回勤務:1時間~3時間未満	0数
③ 常勤か非常勤		6:それ以外	0数
常勤	3数	合計	4数
非常勤	4数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	0数
		いいえ	4数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数/細胞診検査士数(平均)	17.9年
細胞診検査士数	11数	③常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	10数
経験年数合計	197年	非常勤	1数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,528	25	12	10	1,575	88
呼吸器	121	25	46	18	210	65
消化器	30	4	0	7	41	5
泌尿器	776	28	20	1	825	19
乳腺	3	3	1	2	9	2
甲状腺	4,886	429	1,934	98	7,347	1,641
体腔液	115	5	20	0	140	6
リンパ節	173	38	329	24	564	42
その他	40	0	1	1	42	0
小計	7,672	557	2,363	161	10,753	1,868

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
22,946	9,354,729	196,859	37,521	140,571	92,574	12,974	8,780	5,302	171	896	9,872,256

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	382	6	3	3	394	22
呼吸器	30	6	12	5	53	16
消化器	8	1	0	2	10	1
泌尿器	194	7	5	0	206	5
乳腺	1	1	0	1	2	1
甲状腺	1,222	107	484	25	1,837	410
体腔液	29	1	5	0	35	2
リンパ節	43	10	82	6	141	11
その他	10	0	0	0	11	0
小計	1,918	139	591	40	2,688	467

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
6	11,322	220	28	156	140	12	9	5	0	0	11,898

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	7数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	6数	VI 精度管理参加記録	プログラム	5数
技師参加者	27数		技師	18数		成績(%合計)	388.0%
合計	34数		参加者	24数		成績(平均)	77.6%

26年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県 0数	地区	岐阜県 3数	地区	山口県 1数
			地区計 10数		静岡県 1数		徳島県 0数
		関東地区	茨城県 0数	近畿地区	愛知県 6数	九州地区	香川県 1数
			栃木県 1数		三重県 0数		愛媛県 0数
登録衛生検査所 93数			群馬県 2数		地区計 14数		高知県 1数
			埼玉県 6数		滋賀県 1数		地区計 9数
合計 93数			千葉県 2数		京都府 3数		福岡県 7数
②所属都道府県別数地区別・県別			東京都 11数		大阪府 6数		佐賀県 0数
北海道	北海道 4数		神奈川県 3数		兵庫県 5数		長崎県 1数
	地区計 4数		山梨県 1数		奈良県 0数		熊本県 0数
東北	青森県 2数		長野県 1数		和歌山県 0数		大分県 1数
	岩手県 3数		新潟県 4数		地区計 15数		宮崎県 0数
	宮城県 2数	地区計 31数	鳥取県 0数	沖縄県 1数			
	秋田県 2数	富山県 0数	島根県 0数	鹿児島県 0数			
	山形県 1数	石川県 4数	岡山県 2数	地区計 10数			
		中部	福井県 0数	広島県 4数	合計 93数		

II 所属専門医

① 細胞診専門医名		1：定期的に週2回以上勤務	130数
細胞診専門医名	459数	2：毎週1回勤務：3時間以上	67数
② 経験年数		3：毎週1回勤務：1時間～3時間未満	75数
経験年数合計	8,708年	4：2週間に1回勤務：3時間以上	4数
経験年数合計/細胞診専門医数(平均)	19.0年	5：2週間に1回勤務：1時間～3時間未満	13数
③ 常勤か非常勤		6：それ以外	115数
常勤	47数	合計	404数
非常勤	411数	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態		はい	300数
		いいえ	129数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		経験年数/細胞診検査士数(平均)	17.5年
細胞診検査士数	4,571数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数		常勤	3,650数
経験年数合計	79,814年	非常勤	911数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,014,857	64,543	5,020	14,756	2,099,176	49,719
呼吸器	607,255	7,860	5,762	26,504	647,381	8,411
消化器	8,194	2,942	1,307	617	13,060	1,081
泌尿器	816,053	49,440	10,151	750	876,394	12,846
乳腺	52,156	9,297	7,750	14,603	83,806	4,543
甲状腺	20,578	4,395	1,506	3,128	29,607	619
体腔液	43,536	4,212	7,997	101	55,846	3,295
リンパ節	2,435	534	1,496	353	4,818	514
その他	33,222	4,395	2,182	1,993	41,792	678
小計	3,598,286	147,618	43,171	62,805	3,851,880	81,706

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
10,311	5,873,640	119,080	20,096	78,563	51,609	5,308	2,617	1,131	63	124	6,162,355

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	21,665	694	54	159	22,572	535
呼吸器	6,530	85	62	285	6,961	90
消化器	88	32	14	7	140	12
泌尿器	8,775	532	109	8	9,424	138
乳腺	561	100	83	157	901	49
甲状腺	221	47	16	34	318	7
体腔液	468	45	86	1	600	35
リンパ節	26	6	16	4	52	6
その他	357	47	23	21	449	7
小計	38,691	1,587	464	675	41,418	879

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
111	63,157	1,280	216	845	555	57	28	12	1	1	66,262

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	527数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	541数	VI 精度管理参加記録	プログラム	258数
技師参加者	2,363数		技師	1,949数		成績(%合計)	#####%
合計	2,890数		参加者	2,497数		成績(平均)	68.5%

26年度 検診機関 合計

I 病院別数

①施設の区分		地区	福島県 1 数	地区	岐阜県 0 数	山口県 1 数
			地区計 8 数		静岡県 0 数	徳島県 1 数
		関東地区	茨城県 2 数	近畿地区	愛知県 0 数	香川県 1 数
			栃木県 1 数		三重県 0 数	愛媛県 1 数
			群馬県 0 数		地区計 3 数	高知県 0 数
検診機関 48 数			埼玉県 1 数		滋賀県 1 数	地区計 9 数
合計 48 数			千葉県 0 数		京都府 1 数	福岡県 2 数
②所属都道府県別数地区別・県別			東京都 4 数		大阪府 2 数	佐賀県 2 数
北海道	北海道 1 数		神奈川県 0 数		兵庫県 2 数	長崎県 1 数
	地区計 1 数		山梨県 0 数		奈良県 1 数	熊本県 1 数
東北	青森県 2 数		長野県 1 数		和歌山県 0 数	大分県 1 数
	岩手県 1 数		新潟県 1 数		地区計 7 数	宮崎県 1 数
	宮城県 1 数	地区計 10 数	鳥取県 1 数	鹿児島県 0 数		
	秋田県 0 数	富山県 1 数	島根県 2 数	沖縄県 2 数		
	山形県 3 数	石川県 1 数	岡山県 1 数	地区計 10 数		
		中部	福井県 1 数	広島県 1 数	合計 48 数	

II 所属専門医

① 細胞診専門医名	1 : 定期的に週 2 回以上勤務	16 数
細胞診専門医名	2 : 毎週 1 回勤務 : 3 時間以上	10 数
② 経験年数	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	29 数
経験年数合計	4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上	2 数
経験年数合計 / 細胞診専門医数 (平均)	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間 ~ 3 時間未満	17 数
③ 常勤か非常勤	6 : それ以外	94 数
常勤	合計	168 数
非常勤	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
④ 非常勤の場合の勤務形態	はい	95 数
	いいえ	68 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	経験年数 / 細胞診検査士数 (平均)	23.3 年
細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤	
② 経験年数	常勤	294 数
経験年数合計	非常勤	60 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	246,267	5,983	397	1,437	254,084	8,651
呼吸器	130,922	597	545	8,545	140,609	409
消化器	688	111	182	15	996	49
泌尿器	17,500	747	394	59	18,700	247
乳腺	1,904	275	267	483	2,929	106
甲状腺	3,515	182	206	604	4,507	44
体腔液	1,629	86	345	3	2,063	42
リンパ節	161	12	68	18	259	3
その他	1,161	68	78	16	1,323	29
小計	403,747	8,061	2,482	11,180	425,470	9,580

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,473	1,410,350	12,187	2,530	10,987	6,864	1,061	446	214	33	16	1,446,112

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	5,131	125	8	30	5,293	180
呼吸器	2,728	12	11	178	2,929	9
消化器	14	2	4	0	21	1
泌尿器	365	16	8	1	390	5
乳腺	40	6	6	10	61	2
甲状腺	73	4	4	13	94	1
体腔液	34	2	7	0	43	1
リンパ節	3	0	1	0	5	0
その他	24	1	2	0	28	1
小計	8,411	168	52	233	8,864	200

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
31	29,382	254	53	229	143	22	9	4	1	0	30,127

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	257 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	251 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	99 数
技師参加者	927 数		技師	906 数		成績(%合計)	6,587.6 %
合計	1,186 数		参加者	1,184 数		成績(平均)	66.5 %

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	794	いいえ	11		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	772	いいえ	31		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	721	いいえ	82	「はい」ならば何%くらいですか	27 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	732	いいえ	68	「はい」の場合のダブルチェック実施率	43.4 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	4.3 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	732	いいえ	3	標本の保管年数 報告書の保管年数	31 年 60 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	799	いいえ	3		0.5
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	790	いいえ	11		0.8
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	798	いいえ	3		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	795	いいえ	3		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	577	いいえ	226		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	359	いいえ	441	1日の最大検体数	69 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	477	いいえ	325		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	789	いいえ	12		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	782	いいえ	21		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	768	いいえ	31		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適當な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	740	いいえ	59		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	788	いいえ	11		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	667	いいえ	134	「いいえ」の場合何%	47 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	532	いいえ	268	「はい」の場合 一年何回	43 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	485	いいえ	281		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	107	いいえ	2		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	104	いいえ	4		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けられるように努めていますか？	はい	104	いいえ	4	「はい」ならば何%くらいですか	42.1 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	104	いいえ	4	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	50.0 % 2.8 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	105	いいえ	3	標本の保管年数 報告書の保管年数	42.3 年 82.8 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	108	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	107	いいえ	2		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	109	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	109	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	77	いいえ	32		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	31	いいえ	77	1日の最大検体数	67.4 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	41	いいえ	68		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	106	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	105	いいえ	3		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	104	いいえ	4		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	101	いいえ	7		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	105	いいえ	4		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けられるようにしていますか？	はい	80	いいえ	28	「いいえ」の場合何%	83 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	80	いいえ	28	「はい」の場合 一年何回	49.8 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	73	いいえ	31		



精度管理に関する質問調査 一般病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	546	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	527	いいえ	23		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	499	いいえ	50	「はい」ならば何%くらいですか	28.4 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	490	いいえ	56	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	47.4 % 4.2 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	545	いいえ	2	標本の保管年数 報告書の保管年数	34.0 年 65.3 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	546	いいえ	3		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	539	いいえ	8		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	544	いいえ	3		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	540	いいえ	3		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	359	いいえ	189		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	206	いいえ	340	1日の最大検体数	62.4 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	318	いいえ	229		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	541	いいえ	6		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	535	いいえ	14		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	522	いいえ	24		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	493	いいえ	52		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	540	いいえ	5		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	454	いいえ	95	「いいえ」の場合何%	49.3 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	332	いいえ	215	「はい」の場合 一年何回	46.6 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	295	いいえ	227		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	4	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	4	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	32.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	4	いいえ	0	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	36.8 % 0.0 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	4	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	8.0 年 53.8 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	3	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	1		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	3	いいえ	1	1日の最大検体数	56.7 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	1		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	4	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	4	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	4	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	3	いいえ	1	「いいえ」の場合何%	30.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	1	「はい」の場合 一年何回	38.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	1	いいえ	3		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	89	いいえ	3		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	90	いいえ	3		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	82	いいえ	11	「はい」ならば何%くらいですか	8.2 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	88	いいえ	5	「はい」の場合のダブルチェック実施率	17.9 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	4.2 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	91	いいえ	0	標本の保管年数	9.0 年	
					報告書の保管年数	24.0 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	93	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	92	いいえ	1		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	92	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	93	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	93	いいえ	0		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	81	いいえ	12	1日の最大検体数	79.4 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	72	いいえ	21		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	91	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	92	いいえ	1		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	92	いいえ	1		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	93	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	92	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	72	いいえ	19	「いいえ」の場合何%	17.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	79	いいえ	13	「はい」の場合 一年何回	30.5 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	80	いいえ	8		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	47	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	47	いいえ	1		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	31	いいえ	17	「はい」ならば何%くらいですか	7.2 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	45	いいえ	3	「はい」の場合のダブルチェック実施率	36.2 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	7.7 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	48	いいえ	0	標本の保管年数	8.1 年	
					報告書の保管年数	12.3 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	48	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	48	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	48	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	48	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	44	いいえ	4		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	37	いいえ	11	1日の最大検体数	80.5 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	42	いいえ	6		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	46	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	45	いいえ	3		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	45	いいえ	2		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	48	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	46	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	40	いいえ	8	「いいえ」の場合何%	43.8 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	37	いいえ	11	「はい」の場合 一年何回	25.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	35	いいえ	12		